

# 第43回筑波大大会 コース解説

コースセッター 樋口佳那



# はじめに

○午前は桐嶺会員を楽しませるかつ、一般の方にとってルートを見つけた人勝ち・難しすぎるコースにならないようにコントロールしたコースを組むことを心掛けました。

○筑波キャンパスというトレインの良さを存分に発揮できるように階層構造やキャンパス内の競技的に面白い場所を使用しました。

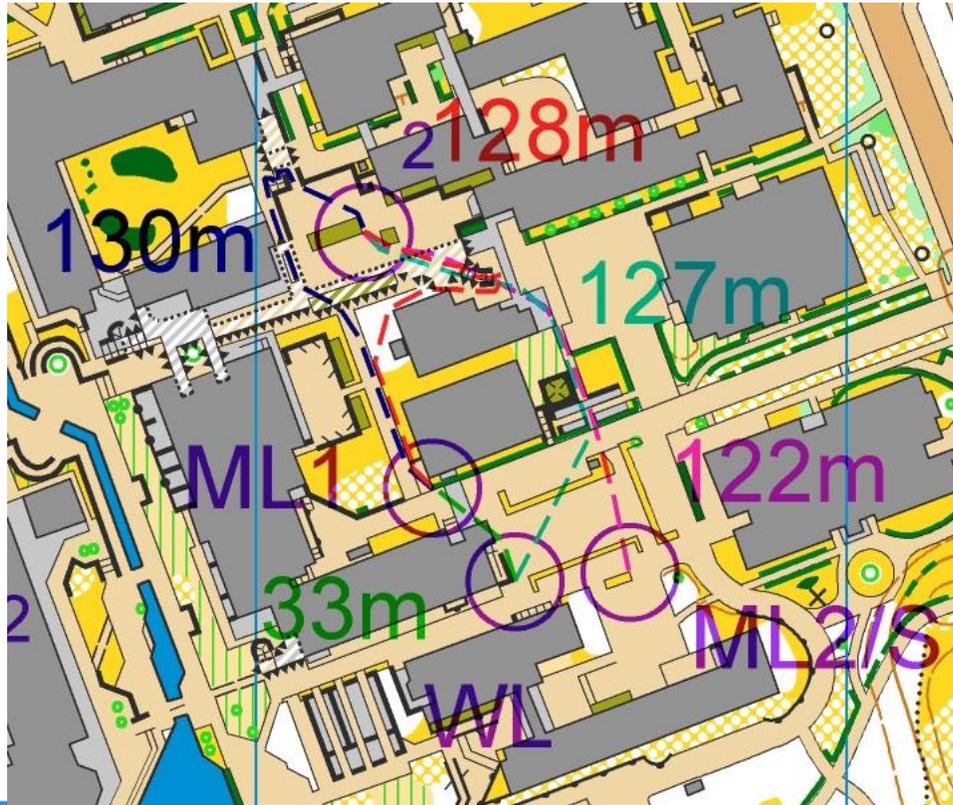
○午後はリレー競技ならではの演出を意識したコースを組み、ビジュアルや、誘導を工夫しました。



# 午前競技



# 全コース 1→2



始めの勝負レック

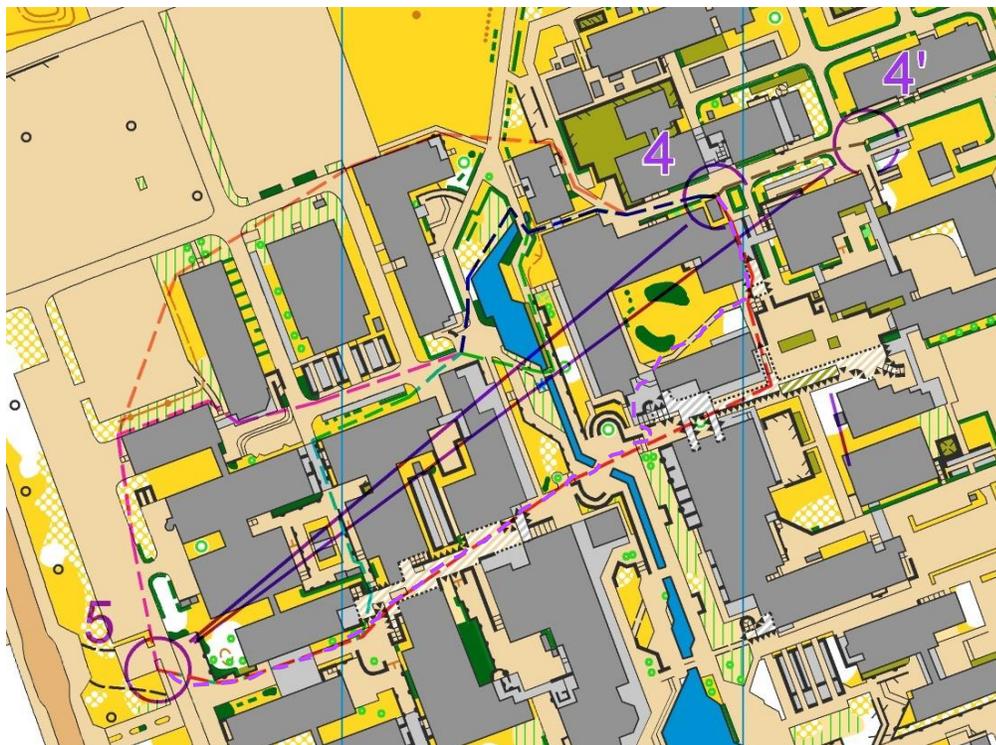
2ポが2階にあるということを地図から読み取れるか試すレック。

3年前に初めて描かれたエリアで桐嶺会員でも迷った人がいる高難易度な場所。

ちなみに2階に登れる階段は2つ。



ML1 4 → 5      ML2 4' → 5



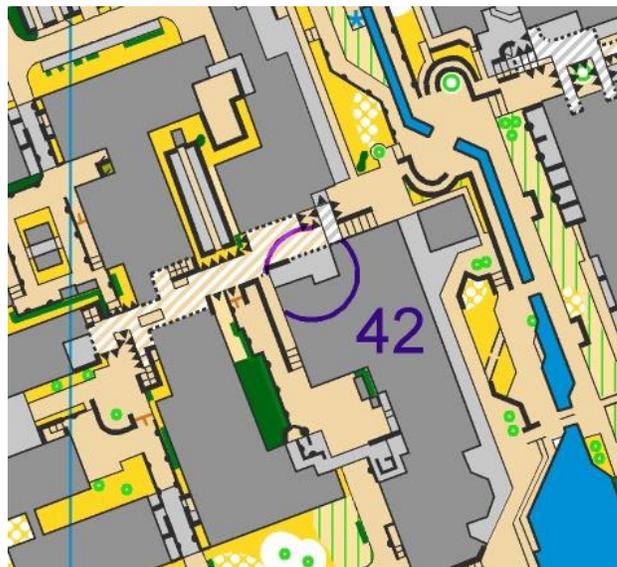
紫がベスト。

赤と紫は階層構造があり、ルート検討の段階で避けたくなるが読み切れたら早い！オープンも切りたい

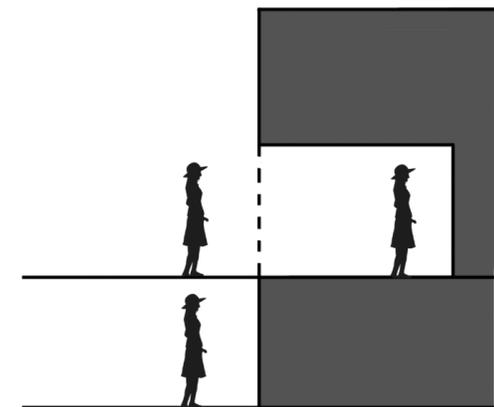
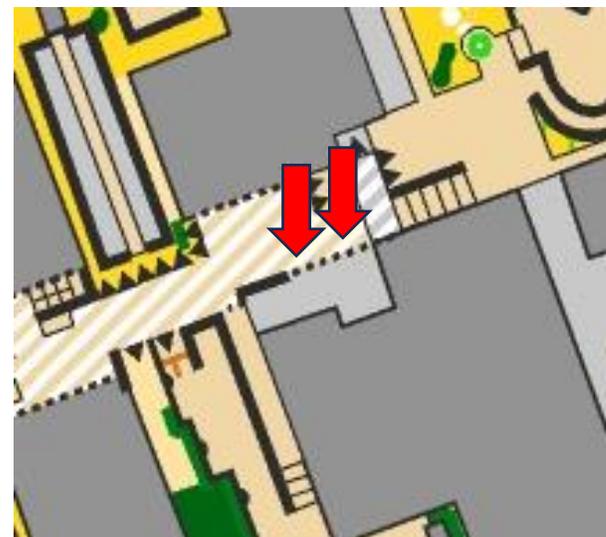
4'から4 60m  
紫325m 赤336m 橙383m  
青143mor黄緑162m + 桃227mor水色224m



# 42番ポスト



この階層構造に苦戦した人もいるはず  
上なの？下なの？



@Bechiwowow

赤矢印で示した点線は下部階層の壁を表しています。  
また、キャノピーのエリアが下部通行可表記ではないことから今回の場合1階(地面)部分は点線の部分まで建物が存在するということがわかります。  
したがって、ポスト位置は2階であることがわかります。



ML1

7 → 8

ML2

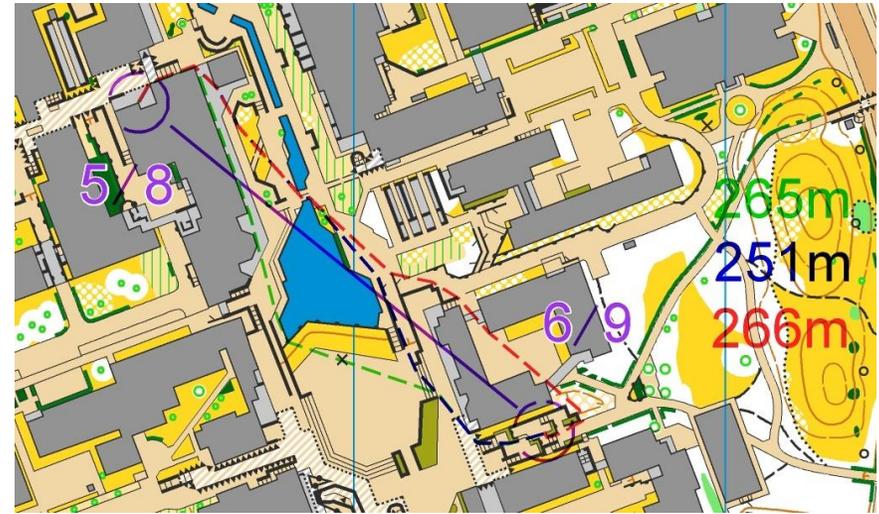
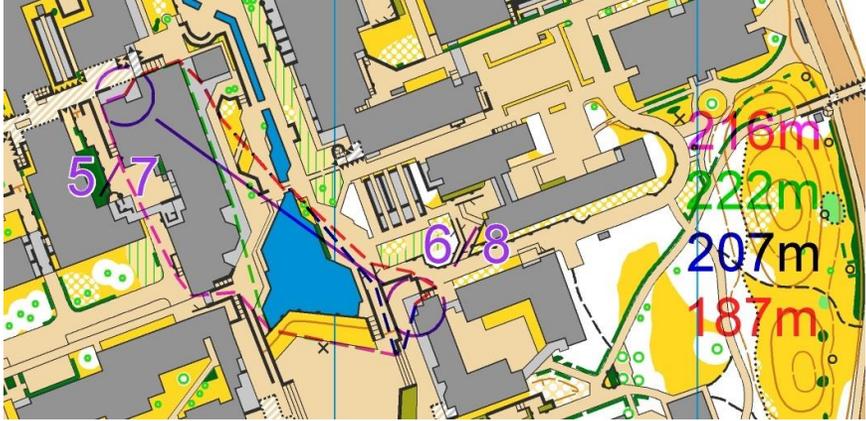
8 → 9

S

5 → 6

WL

5 → 6



アップを抑えた赤ルートがベスト。  
 ミクロなルートチョイスがあるレグ。



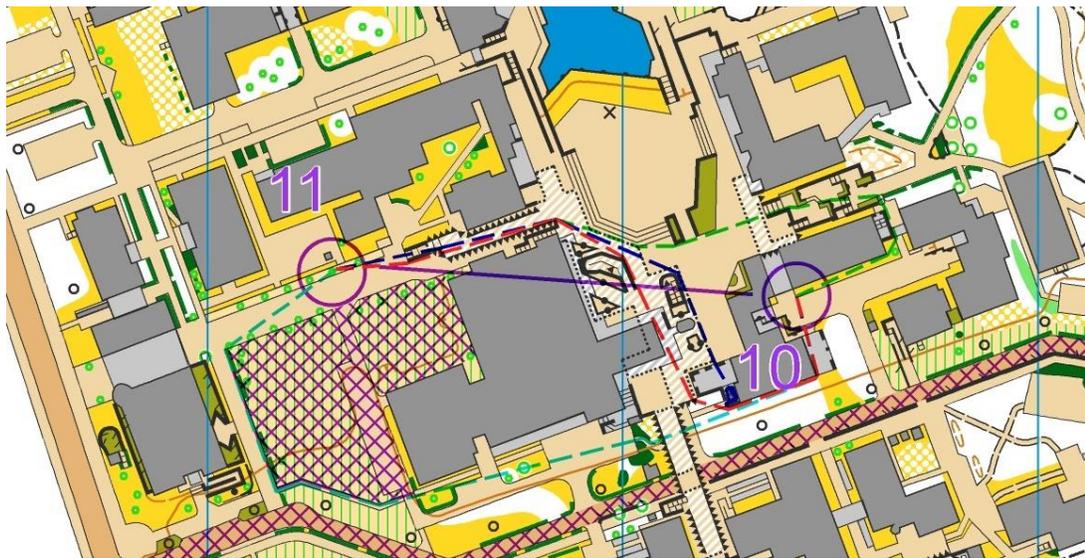
ML1, ML2 9→10 WL 6→7



実は赤ルート通れるの  
皆さん気づきましたか？



ML1, ML2 10→11 WL 7→8



赤245m(下階層)青264m(上階層)緑262m水色340m

4つのルートチョイスがある  
レッグ。

複雑な階層構造のなか、下部  
階層をベストとするレッグを  
組みました。

通れた人すごい！！

お気に入りだったので良レッグと褒めてもらえて嬉しかったです☺



ML1 12→13 WL 9→10

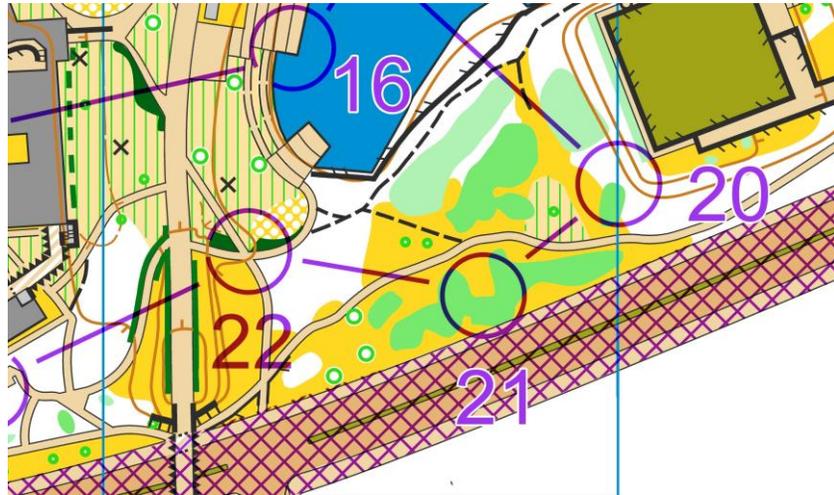
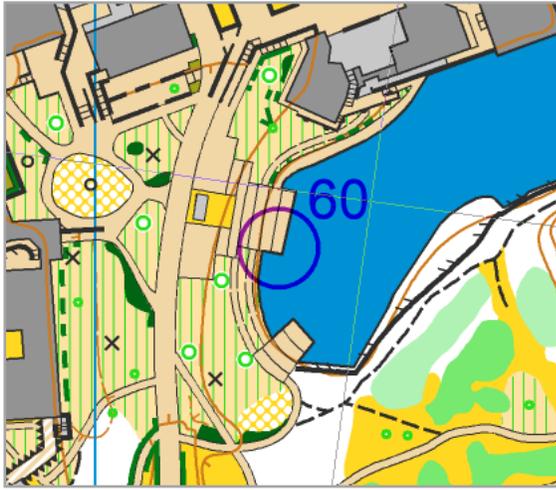


赤72m 青95m

芝充エリアのオープンを  
容赦なく切っしてほしい

部員が時間をかけて  
草刈りしてくれました！





全コース共通の60番ポスト  
と  
最後のフォレストエリア

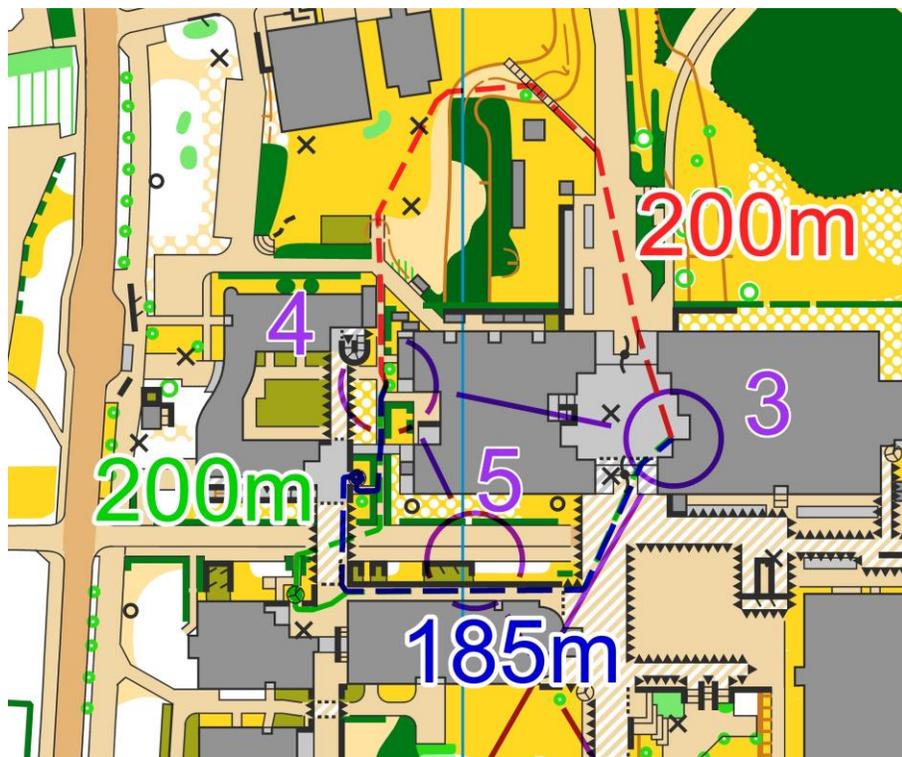
自身が参加した国際大会の  
WOC2023MiddleFinalと  
JWOC2022Sprintの  
オマージュとなっています！



# 午後競技



# 予選 3→4(→5)

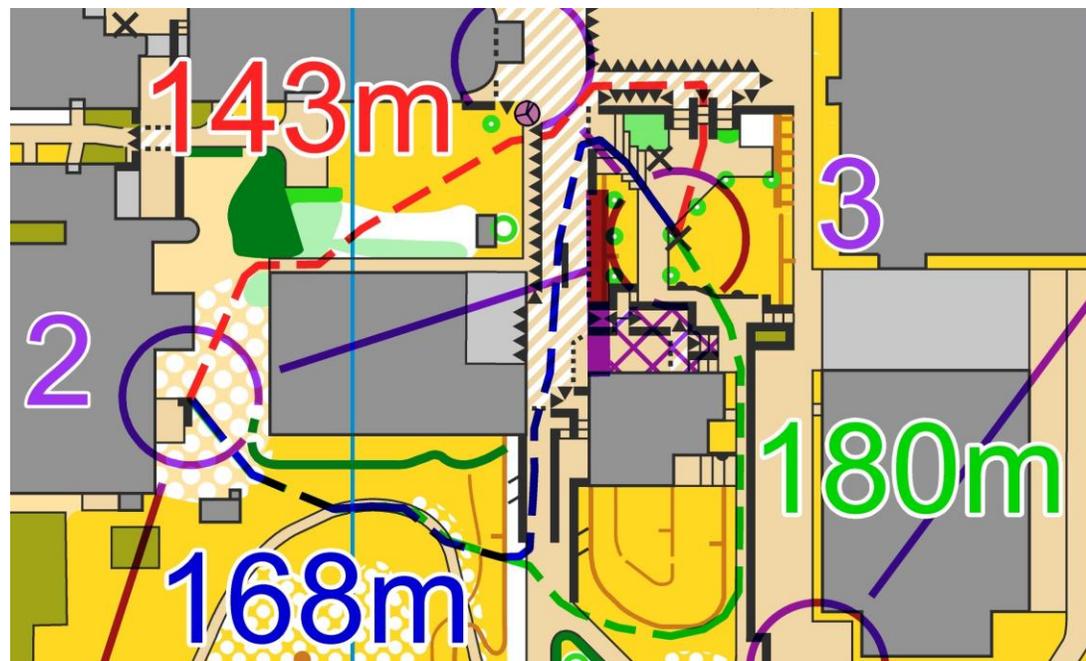


3→5が予選では  
全コース共通レック

3→4 赤の距離は長いが、螺旋階段を使うよりも早い。



# 決勝 2→3



立ち禁を利用したルートチョイス

全コース共通

赤のレグが圧倒的  
普通はその階段見えない！



# Special Thanks !

会計責任者 及川悠太郎

競技責任者 谷口瑞樹

レッグ線の長さ測定補佐

広報責任者 稲辺拓哉

平岩伊武季 森清星也

@Bechiwowow

階層構造の図作成

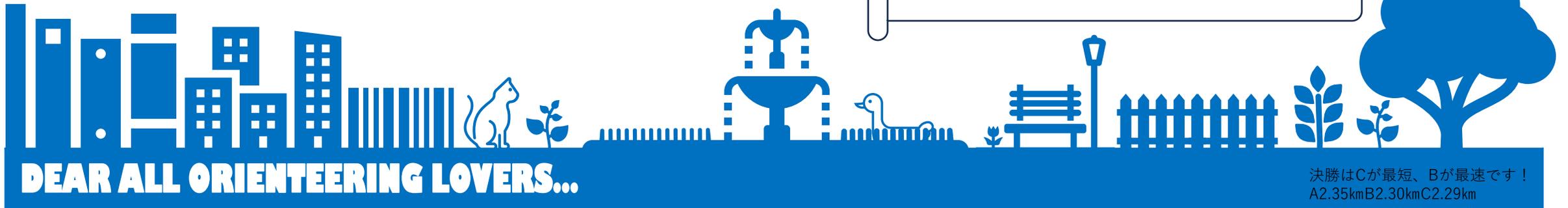
ありがとう！





ご参加ありがとうございました

# 第43回筑波大大会をつけて  
大会の感想をご寄せください!



DEAR ALL ORIENTEERING LOVERS...

決勝はCが最短、Bが最速です!  
A2.35km B2.30km C2.29km